

久米島県立自然公園

指定書及び公園計画書

昭和 58 年 5 月 30 日

沖縄県環境保健部

久米島県立自然公園指定書

目次

1	指 定 理 由	1
2	地 域 の 概 要	1
(1)	景 観 の 特 性	1
	ア 地 形 ・ 地 質	1
	イ 植 生	2
	ウ 野 生 動 物	2
	エ 人 文 そ の 他 の 特 殊 景 観	3
(2)	利 用 の 現 況	3
(3)	社 会 経 済 的 背 景	4
	ア 土 地 所 有 別	4
	イ 人 口 及 び 産 業	4
	ウ 権 利 制 限 関 係	4
3	公 園 区 域	6

1 指 定 理 由

久米島は那覇市の西方約100kmの洋上に蝶がとまった姿で浮んでいる島で、その自然的、社会的諸条件は多島県である沖縄県を代表する島嶼の一つである。

島の随所に優れた景勝地を擁しているとともに、歴史的文化的遺産や風土的景観および海洋性レクリエーションなどの資源にも恵まれ、島全体が自然度を高く保有し自然公園的な環境を備え持つ特徴的な島である。

那覇市から飛行機で30分、フェリーで3時間の至近距離に位置して利用性も高く、近時、観光客の増加も著しい。一方、基幹産業である農業的土地利用の進展および生活環境の改善に伴い島の様相も次第に変化を見せつつある。

このような現状にかんがみ、久米島の自然を適正に保全しつつ効果的な利用を推進するため、久米島全域を県立自然公園に指定し、地域の振興、県土の保全、県民レクリエーションの増進を図るものである。

2 地 域 の 概 要

(1) 景 観 の 特 性

ア 地形・地質

島全体が霧島火山帯に含まれ、地形は島の中央部北よりの宇江城岳(309m)を主峰に、南へ延びるチナゴー岳(293m)、大岳(230m)、だるま山(202m)などの連山が中央山塊をなし、山城一帯の台地を経て阿良岳(287m)に連なる山々が南部山塊を形成している。

また、島の東部は平坦な沖積地が広がり、西部は琉球石灰岩が分布し、石灰岩地特有のカルスト地形がよく発達している。

地質は構造上石垣累帯に属し、中央山塊と南部山塊に連なる台地は安山岩、安山岩質塊岩類、北部台地崖面に表われる島尻層、北部から西部への海岸を縁どる隆起珊瑚

礁、西部の琉球石灰岩、東部の沖積層、東西の一部には砂丘砂等がみられる。

奥武島に露呈する安山岩の柱状節理、阿嘉の砂岩中の斜交層理、宇江城岳、大岳の海拔 200 m 付近に見られるタマネギ状構造、海拔 40 m 付近に発達している琉球石灰岩中のサンゴ化石などは島の地質を標式する特徴的なものである。

西銘崎から儀間及び奥武島の北側から拝み崎にいたる広大なリーフは沖縄県の他の地域には見られない久米島独特の海上景観といえる。

イ 植 生

久米島の所産植物として 148 科 749 種が記録されている。固有種はイトスナズル、ヤマシマフジバカマの 2 種であるが、生物地理学上その分布に興味のある種としてヒラミカンコ、クメジマツツジ、リュウキュウヒメハギ、カワナデシコなど 12 種が知られている。

島の植生は自然植生と代償植生に大別されるが、自然植生の主なものとして大岳、阿良岳などの山頂部風衝地のリュウキュウチク群落、山地斜面を覆うリュウキュウアオキースダシイ群集、谷部のオキナワウラジロガシ群集、海崖風衝地のオキナワシャリンバイーバケイスゲ群落、低地部石灰岩地のリュウキュウガキーナガミボチョウジ群落、儀間川河口域のマングローブ林、海岸線のアダン群集、隆起サンゴ礁上のイソマツーモクビヤコウ群集、ミズガンピ群集、クサトベラーモンパノキ群集などが識別されている。

代償植生として山麓部の二次林やリュウキュウマツ群落、先駆植生のアカメガシワ群落、ススキ草原、人工林のモクマオウ群落などがある。

特に宇江城岳や阿良岳などの斜面を覆うシイ型の森林、比屋定バンタ、トクジムなどの風衝地植生、具志川城跡下の隆起サンゴ礁植生などは島の植物自然を特徴づけるものである。なお、久米の五枝の松、真謝のチュラフクギ、宇根の大ソテツなどは天然記念物に指定され北原や比屋定などのリュウキュウマツの抱護林、各部落に残る御嶽林、海岸線に巾広く育生されているモクマオウの防風林などは島の歴史と立地を指標する特異的な植生景観である。

ウ 野生動物

久米島の野生動物の生息は、まだ不明の点も多く、今後の調査研究に待たざるを得ないが、本地域が多様な地形的、植生的要素を有し比較的にながれ残されてきたこと

から、本来、野生動物の生息環境に適した地域であるといわれている。

本地域で天然記念物に指定されているのは、爬虫類のリュウキュウヤマガメの一種であるが、その外、琉球石灰岩の発達する西部の鐘乳洞等に生息する、トカゲモドキ、個体の少ないキクザトアオヘビなど貴重な動物が生息している。

また、本地域は夏の渡り鳥、ホトトギス、サンコウチョウ、アカショウビン等の重要な通過及び繁殖地になっており、冬季の渡り鳥サシバの中継及び通過地として知られている。国の天然記念物イイジマムシクイは、本地域が主要な通過地と考えられている。メジロの亜種リュウキュウメジロ及びシマメジロなども多数繁殖している。

次に、野生鳥獣を保護するため、大岳周辺と比屋根バンタ附近に、鳥獣保護区が指定されている。

エ. 人文その他の特殊景観

久米島は古代より琉球と中国を結ぶ航路、貿易などの要衝地として開け、日本書紀等に美しい島という意味で球美島と記されている。

按司時代（15世紀）の居城であった伊敷索城、具志川城、宇江城城、登武那覇城及び蔵元等は史跡として保存されている。

先史時代の生活様式を知る大原貝塚、中国との交流の象徴として建立された天石宮（18世紀）、具志川間切地頭上江州家住宅（18世紀）、ウティータ石、君南風等の文化財が歴史の断片を物語っている。

また、集落の多くはフクギやアカテツの屋敷林やブッソウゲ、ホウライチクなどによる生垣に囲まれ、赤瓦の民家等、今や矢われつつある沖縄の集落の風土的特徴を良く残している。

(2) 利用の現況

久米島の観光レクリエーション利用は、海水浴を中心とした利用形態である。

夏季を中心とする利用状況は、全般に県の水準を凌ぐ勢いを示すが通年性は低い。昭和54年の入込観光客数は67,000人となっているが、最近の入込客の伸びは大きく（年30%増）、その将来性は高いものと期待されている。

従って、そのための適切な誘致策と輸送力の増強等受入れ体制の強化を図る必要が

ある。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

村有地が仲里村 1,866 ha (対面積の52%)、具志川村 738ha (同32%)、計 2,604 ha (対全面積44%) の広大な面積が山地、海岸部に広がっており、土地の保全上の要所を占める。

国有地、県有地は僅少で点在している。

イ 人口及び産業

人口は仲里村 5,375 人 (55年)、具志川村 4,812 人 (55年)、計 10,187 人で、長らく減少を続けていたが、近年僅かではあるが増加に転じている。年齢別人口構成については、15～29才の若年労働力層の流出がみられるが、近年、この傾向は緩やかになりつつある。

産業は第一次産業が中心であり、就業人口で仲里村 1,909人 (54%：55年)、具志川村 758人 (46%：50年)、収入高で仲里村 (40%：48年)、具志川村 (49%：53年) となっている。

山林原野の開墾等による減少率は、仲里村 (53%：40年) → (48%：55年)、具志川村 (45%：40年) → (43%：55年) となっている。なお、農村総合整備モデル事業、農業構造改善事業等の進行により、暫時、山林原野は減少しつつある。

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

水源かん養保安林	仲里村	46.71 ha
	具志川村	167.46 ha
土砂流出防備保安林	仲里村	48.43 ha
	具志川村	34.46 ha
防風保安林	仲里村	56.09 ha
	具志川村	34.46 ha
潮害防備保安林	仲里村	79.86 ha
	具志川村	62.85 ha

干害防備保安林	仲里村	43.19 ha
	合計	539.05 ha

(イ) 鳥獣保護区

仲里鳥獣保護区	仲里村	245.0 ha	50.11.13 (指定)
具志川鳥獣保護区	具志川村	290.0 ha	50.11.13 (指定)
	合計	535.0 ha	

(ウ) 史跡名勝天然記念物

旧仲里間切蔵元石牆	仲里村	47.5.15 (国指定)
上江州家住宅	具志川村	47.5.15 (国指定)
天后宮	仲里村	31.2.22 (県指定)
仲里間切蔵元跡	仲里村	31.2.22 (県指定)
伊敷索城跡	具志川村	36.6.15 (県指定)
具志川城跡	具志川村	36.6.15 (県指定)
宇江城城跡	仲里村	49.1.19 (県指定)
ウティダ石	仲里村	49.1.19 (県指定)
久米島大原貝塚	具志川村	31.10.19 (県指定)
久米の五枝の松	具志川村	34.12.16 (県指定)
宇根の大ソテツ	仲里村	34.12.16 (県指定)
奥武島豊石	仲里村	42.4.11 (県指定)
真謝のチュラフクギ	仲里村	45.5.19 (県指定)

(エ) 海岸保全区域

仲泊清水海岸保全区域	具志川村	4,380 m	48.10.25 (指定)
銭田海岸保全区域	仲里村	2,180 m	49.11.11 (指定)
比屋定海岸保全区域	仲里村	3,730 m	50.11.5 (指定)
真謝海岸保全区域	仲里村	2,100 m	50.11.5 (指定)
島尻海岸保全区域	仲里村	760 m	50.11.27 (指定)
儀間東海岸保全区域	仲里村	1,810 m	50.11.27 (指定)
仲里村島尻海岸保全区域	仲里村	2,250 m	55.1.28 (指定)

3. 公園区域

久米島県立自然公園の区域を次のとおりとする。

(公園区域表)

村名	区域	面積 (ha)
仲里村	自衛隊基地、港湾、漁港区域を除く全域	3,601
具志川村	自衛隊基地、港湾、漁港区域、空港用地、エビ養殖場を除く全域	2,340
	これらの地域の地先海面 (仲里村 4.498) (具志川村 1.138)	(5,636)
合計		5,941

久米島県立自然公園計画書

目次

1	基本方針	1
2	保護計画	3
(1)	保護規制計画	3
ア	特別地域	3
イ	普通地域	3
3	利用計画	16
(1)	利用施設計画	16
ア	集団施設地区	16
イ	単独施設	18
ウ	道路	22
(ア)	車道	22
(イ)	自転車道	24
(ウ)	歩道	26
エ	運輸施設	26

1. 基本方針

(1) 保護の要点

ア 主たる景観対象であり、環境の骨格部に位置する。山地、海岸、海域の自然性を保護する。

イ 自然地域と開発地域との間において、開発による自然への影響を緩和し、生産・居住地域及び集落並びに耕地防風林と里山林の持つ緩衝機能を保全する。

ウ 久米島の魅力の一つとなっている。歴史性、風土性の高い集落、景観、豊かな農耕景観を保全し、公園利用の関連地域として、環境の保全を図る。

エ 地域および地種区分

以上の要点より本公園区域は、特別地域、普通地域、海域普通地域で構成し、特別地域は対象の性質により、1種から3種までに地種区分する。

第1種特別地域：

上述、アの枢要部で自然環境の保全上、もっとも重要な久米島のシンボル地域を対象とし、その全体を重点的に保護する。

第2種特別地域：

上述、アの残りの地域で、おおむね、主要な景観地域と自然的レクリエーション適地よりなり、その枢要な部分を重点に、全体の保全を図る。

第3種特別地域：

上述、イの地域を主とする集落、耕地の背後地域、台地、緩斜面の農林地域で、環境保全上、景観保全との関連地域として、その枢要な部分の保全を図る。

普通地域：

上述、ウの地域を主とする、集落および平坦面の耕作地域で、環境の保全、回復上、また、自然公園の利用上、関連の深い地域の適正な保全を図る。

海域普通地域：

陸域公園区域の地先において、環境保全上、レクリエーション利用上、関連する海域を対象に、全体の保全を図る。

(2) 利用の要点

- ア 県外、および県内の沖縄本島中南部都市圏を対象とする海洋性レクリエーションエリアで、水泳、ボート、ヨット等、船遊びを主体とする。
- イ 海洋性レクリエーションの外には、海岸や山地の植物、地形、地質的資源を対象とする自然探勝、史跡や集落等の歴史的、風土的資源を対象とする人文研究等、久米島の本来的魅力を満喫できる風土探訪型レクリエーションを推進する。
- ウ アおよびイに関連する、ハイキング、ピクニック、キャンプの振興と将来的な余暇動向を受けて、休養、避寒等、保養地型レクリエーションの対応を図る。
- エ イ、ウ、を通じて1季集中型から通年型へ、青年、若年層から家族層への拡大と、既存施設の有効利用を図るものとする。
- オ 島の交通拠点、具志川村久米島飛行場、兼城港、仲里村真泊港を基点とし、仲里村イーフビーチ帯観光拠点、その他主要景観地点、レクリエーションエリアを結ぶルートを確保するため、島内を循環する車道と興味対象地点にアプローチする道路を整備する。この間の交通機関は路線バス、レンタカー、貸自転車、徒歩と奥武島等海上遊覧船に依る。今後の新たなルートとして山間地横断ルート、海岸、山地のハイキング、またはサイクリングルート、海上探勝ルートを加える。
- カ オにあげたルートの内、北部の隆起サンゴ礁上植生を通る区間では、とくに重要な範囲についての立入りを制限する等、植生の保護に関する措置を講じる。
- キ 両村の主要な海浜レクリエーションエリアに集団施設地区を置く外、その他のレクリエーションエリア、景勝地や史跡の探訪地、交通拠点等を単独施設整備地点として整備する。

2 保護計画

(1) 保護規制計画

ア 特別地域

次の区域を特別区域とする。

村名	区域	面積 (ha)
仲里村	大字字江城、比屋定、上阿嘉、下阿嘉、真謝、宇根、真泊、泊、西奥武、東奥武、謝名堂、比嘉、真我理、銭田、島尻、山城、儀間の一部	2,217
具志川村	次を除く全村域 大字大原、鳥島、仲泊の全部、大字仲村渠、具志川、仲地、山里、上江洲、西銘、久間地、北原、大田、兼城、嘉手苺の一部	1,531
計		3,748

イ 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

村名	区域	面積 (ha)
仲里村	字字江城、比屋定、上阿嘉、下阿嘉、真謝、宇根、真泊、泊、西奥武、東奥武、謝名堂、比嘉、真我理、銭田、島尻、山城、儀間の一部	1,384
具志川村	字大原、鳥島、仲泊の全部 字仲村渠、具志川、仲地、山里、上江洲、西銘、久間地、北原、大田、兼城、嘉手苺の一部	809
計		2,193

(表1：特別地域総括表)

区分 村名	第1種特別地域		
	区	域	
		面積	
仲里村	字宇江城の一部		63
	字島尻の一部		135
	小計		198
具志川村	字仲村渠、具志川、仲地、山里、上江洲の一部		179
	小計		179
合計			377

第 2 種 特 別 地 域		第 3 種 特 別 地 域	
区 域	面 積	区 域	面 積
字上阿嘉、下阿嘉、宇江城、 比屋定の一部	230	字宇江城、比屋定の一部	260
字宇江城、比屋定の一部	116	字儀間、山城、真我利、 比嘉、宇根、 真謝の一部	532
字儀間、山城、真我理、銭田、 島尻の一部	465	字島尻の一部	132
字謝名堂、比嘉、銭田、泊 の一部	35	字島尻、銭田の一部	144
字奥武島、オーハ島の一部 及び拝み崎一帯	43	字泊、宇根、真泊の一部	62
小 計	889	小 計	1,130
字仲村渠、具志川、北原の 一部	150	字仲村渠、具志川、仲地、 山里	722
字大原、鳥島の一部	80	北原、上江洲、西銘、及び 大田の一部	194
字上江洲、西銘、大田、 兼城の一部	206	兼城、嘉手苅の一部	
小 計	436	小 計	916
	1,325		2,046

(ア) 第 1 種 特 別 地 域

(表 2 : 第 1 種 特 別 地 域 内 訳 表)

名 称	区 域
宇 江 城 岳	仲里村字江城の一部 具志川村字仲村渠、具志川、仲地 山里、上江洲の一部
阿 良 岳	仲里村字島尻の一部
計	

概 要	面 積
<p>久米島のシンボル地域である。</p> <p>宇江城岳（309 m）、大岳（230 m）とを繋ぐ稜線とその山腹で風衝状のスダシイ林に被われている。</p> <p>大岳のある具志川村側には、県指定の天然記念物リュウキュウヤマガメと鳥類を対象にした、鳥獣保護区及び同特別保護地区が設定されている。</p>	<p>63</p> <p>179</p>
<p>久米島の2大山塊阿良岳（287 m）を中心に久米島最大の海蝕崖をみせる宇江城岳につぐシンボル地域である。</p> <p>スダシイ林を主に海岸の風衝植生に被われた自然性の高い地区である。</p>	<p>135</p>
	<p>377</p>

(イ) 第 2 種 特 別 地 域

(第 3 表：第 2 種特別地域内訳表)

名 称	区 域
比屋定バンタ～宇江城西海岸	仲里村字上阿嘉、下阿嘉、宇江城、 比屋定の一部
宇江城岳南麓	同字宇江城、比屋定の一部
阿良岳山腹～トクジム海岸	同字儀間山林、真我理、銭田、島尻 の一部
イーフビーチ	同字謝名堂、比嘉、銭田、泊の一 部
奥武島～拝み崎	同奥武島～拝み崎一帯
北西海岸	具志川村字仲村渠、具志川北原の 一部
大原～鳥島海岸	同字大原、鳥島の一部
大岳南麓	同字上江洲、西銘、大田、兼城の 一部
計	

概 要	面 積
<p>村指定の阿嘉黒石、阿嘉のヒゲ水、比屋定バンタ、いっかち一帯等名勝地が多い。海岸は段丘崖、海岸の隆起サンゴ礁、植生が貴重で多種</p>	230
<p>スタシイ林、リュウキュウマツ林を主とする森林地域で水源かん養林もあり、環境保全効果が高い。</p>	116
<p>阿良岳周辺の山腹、海岸でスタシイ林を主とする自然植生に被われ、自然性が高い。トクジム海岸は安山岩の海蝕崖、奇岩等の景観性が大きい。</p>	465
<p>久米島の中心海浜、レクリエーションエリア、モクマオウの潮害防備保安林と長大な砂浜が特徴である。</p>	35
<p>県指定の天然記念物、安山岩節理の畳石、拝み崎に至る保礁の地形と砂州、砂浜、サンゴ礁景観が美しい。</p>	43
<p>隆起サンゴ礁と海岸の断丘面による地形的特徴を有するとともにイソフサギ群落、ミズガンピ群落、オオバギークロツグ群落等自然性が高い。県指定の具志川城跡を有す。ミーフガーの奇岩等、海岸景観地が多い。</p>	150
<p>久米島の代表的な砂丘海浜でモクマオウの防風林に縁どられた海浜レクリエーションエリア、県指定の大原貝塚を有する。</p>	80
<p>大岳南麓斜面に主としてスタシイ林、リュウキュウマツ林による森林地帯でほとんどが水源かん養保安林である。</p>	206
	1,325

(ウ) 第 3 種 特 別 地 域

(表 4 : 第 3 種 特 別 地 域 内 訳 表)

名 称	区 域
北 海 岸 台 地	仲里村字宇江城、比屋定の一部
フ サ キ ナ 山 一 帯	同儀間、山城、真我理、比嘉、 宇根、真謝の一部
島 尻 丘 陵	同 島 尻 の 一 部
ス ハ ラ 一 帯	同 島 尻、 銭 田 の 一 部
真 泊 の 丘 陵	同 泊、 宇 根、 真 泊 の 一 部
北 西 海 岸 台 地	具志川村字仲村渠、具志川、仲地、 山里、上江洲、西銘及び大田の 一 部
白 瀬 川 流 域	同 兼 城、 嘉 手 苅 の 一 部
計	

概 要	面 積
<p>字宇江城、比屋定の集落を除く地域 北風を防ぐリュウキュウマツの耕地防風林、集落林が特徴的な人文景観を有す。</p>	260
<p>山地と低地を分けるリュウキュウマツ林、スダシイ林が塊状的に分布し、水源地としての土地保全地域で景観上の緩衝地域、村指定の登武那覇城跡及び天然記念物ウーリ池植物群落等を有す。</p>	532
<p>阿良岳東面の丘陵地域で主としてリュウキュウマツ林による土地の保全地域で景観上の緩衝地域。</p>	132
<p>阿良岳の北東部丘陵地域で、リュウキュウマツ林、スダシイ林に被われた景観上の緩衝地域、村指定のスハラ城跡、島尻の石墓を有す。</p>	144
<p>礁湖、島嶼を眺望する岬、リュウキュウマツ林、村指定の涙石を有す。</p>	62
<p>石灰岩地域でリュウキュウマツによる防風林が整備され、農耕地が広がり景観上の緩衝地域。鐘乳洞が多く、動物相に特徴的なものが分布する。県指定の五枝の松。ナガタケ松並木、ヤジャーガマ等を有す。</p>	722
<p>白瀬川、浦地川流域を主として、オオバギークロツグ群落、ガジュマルークロヨナ群落、リュウキュウマツ群落に被われた流域保全地域、県指定の伊敷索城跡を有す。</p>	194
	2,046

(表 5 : 普通地域内訳表)

ア. 普通地域 (陸域)

名 称	区 域
宇江城・比屋定	仲里村字宇江城、比屋定の一部
阿嘉一帯	同上阿嘉、下阿嘉の一部
儀間一帯	同儀間の一部
東海岸低地	同真謝、宇根、謝名堂、比嘉、 真我理、銭田、山城の一部
島尻一帯	同島尻の一部
奥武島一帯	同西奥武、東奥武の一部
仲村渠、具志川一帯	同仲村渠、具志川の一部
西部石炭岩台地	具志川村字大原、鳥島、仲泊の全部 同字仲地、山里、上江洲 久間地、大田、兼城の一部
大田兼城一帯	同大田、兼城の一部
嘉手苳一帯	同嘉手苳の一部
計	

イ. 普通地域 (海域)

地先海域	仲里村公園区域の地先海域
地先海域	具志川村公園区域の地先海域
計	

概 要	面 積
字宇江城、比屋定の集落、県指定のウテーダ石を有す。	30
字上阿嘉、下阿嘉の集落、リュウキュウマツ林、パイン畑等を有す。	211
集落及び水田景観を含む農耕地域。	253
集落及び低地の農耕地域、国指定の仲里間切蔵元石牆、県指定の仲里間切蔵元跡、天后宮、宇根の大ソテツ、真謝のチュラフクギ等を有す。	730
島尻の集落と周辺農耕地域	100
集落と周辺農耕地域	60
集落を中心とする地域	26
市街地、集落及び、農耕地域が主体。北側部落のフクギの屋敷林等の人文景観が良い。 国指定の上江洲家住宅、村指定の君南風殿内を有す。	540
集落と農耕地域	148
集落と農耕地域	95
	2,193

汀線から1 kmの海域	4,498
汀線から1 kmの海域	1,138
	5,636

(表 6 : 地域地区別土地所有別面積総括表)

地 域 区 分		特 別 地			
地 種 区 分		第 1 種		第 2 種	
土 地 所 有 別		公 有 地	私 有 地	公 有 地	私 有 地
仲 里 村	土 地 所 有 別 面 積	198	0	689	200
	地 種 区 分 別 面 積	198		889	
	地 域 別 面 積	2,217			
具 志 川 村	土 地 所 有 別 面 積	179	0	382	54
	地 種 区 分 別 面 積	179		436	
	地 域 別 面 積	1,531			
合 計	土 地 所 有 別 面 積	377	0	1,071	254
	地 種 区 分 別 面 積	377 (6)		1,325 (22)	
	地 域 別 面 積	3,748 (63)			

域		普通地域		合計		海域
第 3 種		公有地	私有地	公有地	私有地	
707	423	272	1,112	1,866	1,735	
1,130						
		1,384		3,601		4,498
136	780	41	768	738	1,602	
916						
		809		2,340		1,138
843	1,203	313	1,880	2,604	3,337	
2,046 (35)						
		2,193 (37)		5,941 (100)		5,636

3. 利用計画

(1) 利用施設計画

ア 集団施設地区

集団施設地区を次のとおりとする。

(表7：集団施設地区表)

番号	名称	区域	計画目標
1	サンビーチ	具志川村字大原 鳥島の一部	西海岸海浜レクリエーションの拠点 エリア。 村の農村公園計画と組合せる。 (村民レクリエーションエリア) 一部防風林改良
計			
2	イーフビーチ	仲里村字謝名 堂、比嘉、銭田 の一部	東海岸海浜レクリエーションの拠点エリア。 久米島礁湖(ラグーン)の探訪拠点。 既設民間施設の充実 公共施設整備 東端干潟園地保護 一部防風林改良
計			

地 割 等	整 備 方 針	面 積
公 共 施 設 区	広場、駐車場、公衆便所	0.8
水 辺 利 用 区	海水浴場、船遊場、係留施設、デーキャンプ	16.6
園 地 区	自然公園地、遊歩道、休憩舎等	57.5
教 化 施 設 区	野外展示施設、便所、休憩舎等	1.1
宿 泊 施 設 区	公営宿舎（又は研修施設）及び付帯施設	1.3
運 動 施 設 区	グラウンド・コート	2.2
サイクリング道路		
		79.5
公 共 施 設 区	駐車場、広場、公衆便所、管理棟、展示棟 (多目的利用)	1.0
水 辺 利 用 区	海水浴場、船遊場、係留施設、デーキャンプ	4.2
園 地 区	自然公園地、遊歩道、休憩舎等	27.4
宿 泊 施 設 区	既設宿舎、付帯施設	2.8
運 動 施 設 区	グラウンド・コート	3.9
		39.3

イ. 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 8 : 単独施設表)

番号	種 類	位 置
1	園 地 休 憩 所 案 内 所 博 物 展 示 施 設	具志川村字北原タンジュ原
2	園 地 休 憩 所 駐 車 場	具志川村字仲村渠クムシ原
3	休 憩 所 駐 車 場	具志川村字久間地
4	園 地 休 憩 所 野 営 場 駐 車 場	具志川村上江洲富祖久原 西銘山蔵原
5	園 地 駐 車 場	具志川村字嘉手苅槍川原
6	広 場 園 地	仲里村字島尻トクジム原

整 備 方 針
<p>久米島飛行場隣接地</p> <p>久米島探訪拠点としてのインフォメーションセンター整備</p> <p>案内所には博物展示設備を設け主要地点の学術的解説及び展示</p> <p>駐車場は空港駐車場利用</p>
<p>具志川城跡一帯の探勝園地整備</p> <p>(ミーフガー周辺を含む)</p> <p>駐車場小規模(10台)</p>
<p>五枝の松を中心とする一帯の環境整備</p> <p>駐車場小規模(10台)</p>
<p>だるま山、ダム周辺のレクリエーションエリア、花木園地等の修景整備</p> <p>野営場はデーキャンプ</p> <p>駐車場は中規模(20台)</p>
<p>伊敷索城跡園地</p> <p>駐車場は小規模(10台)</p>
<p>青少年旅行村の整備</p> <p>既設改良(広場、園地、野営場、コート、駐車場)</p>

	宿 舍 休 憩 所 野 營 場 運 動 場 水 泳 場	
7	園 地 野 營 場 駐 車 場	仲里村字島尻
8	園 地 駐 車 場	仲里村字儀間阿良岳
9	園 地 休 憩 場 駐 車 場	仲里村字宇江城山田原
10	園 地 野 營 場	仲里村字阿嘉東原
11	展 望 施 設 駐 車 場	仲里村字比屋定東原
12	園 地	仲里村字宇根ミライ原
13	園 地 駐 車 場	仲里村字謝名堂ナガラハ原
14	園 地 ・ 係 留 施 設	仲里村字奥武

新 設 海 水 浴 場

森林公園構想地の具体化誘導、6と補完

野営場はデーキャンプとし管理棟を設ける

駐車場中規模（20台）

阿良岳、トクジム歩道の起点整備

園地内道標、案内板整備、駐車場小規模（10台）

宇江城城跡一帯の園地整備

駐車場は小規模（10台）

隆起サンゴ礁、海岸探勝園地（旧集落跡）

海岸サイクリングルート of 終点、野営場はデーキャンプ

比屋定バンタの展望舎整備（既設）

駐車場は路傍

登武那覇城跡の園地整備

ウーリ池探勝園地、駐車場小規模

登武那覇城跡と結ぶハイキングルート of 起点整備

畳石園地整備

ウ. 道 路

(ア) 車 道

車道を次のとおりとする。

(表 9 : 道路 (車道) 表)

番号	路 線 名	区 間
1	空 港 線 (県 道)	起 点——具志川村字北原 (飛行場) 終 点——同 字仲泊
2	久米島一周線 (県 道)	起 点——具志川村字仲泊 終 点——同 字仲泊
3	北 原 線	起 点——具志川村字北原 (県道) 終 点——同 字具志川
4	南 北 横 断 線	起 点——具志川村字兼城 (県道) 終 点——仲里村字上阿嘉 (県道)
5	サ ン ビ ー チ 線	起 点——具志川村字大原 (県道) 終 点——同 サンビーチ
6	久 間 地 線	起 点——具志川村字西銘 (県道) 終 点——同 字山里 (県道)
7	具 志 川 城 跡 線	起 点——具志川村字仲村渠 (県道) 終 点——同 具志川城跡
8	伊 敷 索 城 跡 線	起 点——具志川村字嘉手苅 (県道) 終 点——同 伊敷索城跡

主要経過地	整備方針
大原、鳥島	空港と中心市街地仲泊連絡 大原、北原マツ並木の保全、保育
西銘、仲村渠、比屋定 阿嘉、真謝、比嘉、儀間	景勝地、集落を縫う中心ルート 周辺樹木の保全、保育
	北海岸連絡、バイパス 舗装改良、マツ並木保全、保育
大岳、宇江城山麓	山間部中央横断線 軍用地分岐東北一部新設、改良
	サンビーチ集団施設地区アプローチ 道標サイン整備
久間地	五枝の松、アプローチ 道標サイン整備
	具志川城跡アプローチ 修景緑化
	伊敷索城跡アプローチ

9	阿 良 岳 線 (林 道)	起 点——仲里村字儀間 (県道) 終 点——同 字 島 尻
10	ト ク ジ ム 線	起 点——仲里村字島尻 終 点——同 ト ク ジ ム
11	島 尻 線	起 点——仲里村字島尻 終 点——同 上
12	真我理～島尻線	起 点——仲里村字真我理 (県道) 終 点——同 字 島 尻
13	宇 根 ～ イ ー フ ビ ー チ 線	起 点——仲里村字宇根 (県道) 終 点——同 字 銭 田
14	真謝～謝名堂線	起 点——仲里村字真謝 終 点——同 字 謝 名 堂

(イ) 自転車道

自転車道を次のとおりとする。

(表10：道路(自転車道)表)

番号	路 線 名	区 間
1	北 西 海 岸 線	起 点——具志川村字鳥島 (県道) 終 点——仲里村字阿嘉西原

阿 良 岳 山 麓	阿良岳アプローチ 修景緑化
	トクジムアプローチ 修景緑化
	森林公園アプローチ (スハラ)
銭 田	島尻アプローチ
真 泊 、 泊	イーフビーチ集団施設地区アプローチ 修景緑化
	登武那覇城跡、ウーリ池アプローチ

主 要 経 過 地	整 備 方 針
サンビーチ、空港 具志川城跡、ミーファー	海岸景勝地を縫う重要ルート (1 5 . 3 km)

(ウ) 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表11：道路(歩道)表)

番号	路線名	区 間
1	大岳～だるま山線	起 点——具志川村字西銘 終 点——同 字仲地
2	阿良岳～ トクジム線	起 点——仲里村字儀間(林道) 終 点——同 字島尻(トクジム)
3	森林公園～ 阿良岳線	起 点——仲里村字島尻 終 点——同 字阿良岳
4	宇江城線	起 点——仲里村字宇江城 終 点——同 字宇江城岳
5	ウーリ池～ 登武那覇城跡線	起 点——仲里村字謝名堂(ウーリ池) 終 点——同 登武那覇城跡

エ. 運輸施設

運輸施設を次のとおりとする。

(表12：運輸施設表)

番号	路線名	種 類	位 置 又 は 区 間
1	久米島礁湖線		起 点——仲里村字謝名堂(イーフビーチ) 終 点——同 上
6		保留施設	仲里村字島尻トクジム

主要経過地	整備方針
だるま山山頂 大岳山頂	山間ハイキングルート整備 第1種、第2種特別地域内通過
阿良岳山頂	阿良岳からトクジム海岸を縫う 山地、海岸ルート整備
	森林公園、阿良岳連絡線
	宇江城城跡連絡線
	ウーリ池と登武那覇城跡連絡線

主要経過地	整備方針
奥武島、拝み崎 トクジム、トノバラ岩	久米島ラグーン、海蝕崖等の探勝ルート グラスボートの整備
	航路寄航地の新設

